人生の流れを大きく変える

自己啓発と時間戦略

不利な人生を逆転して自信が持てる人になる

～その 9～

人格形成の方法

1．富・貴の人生を目ざすには

2500 年ほど前、孔子の弟子の 1 人が孔子に次のような質問をした。

①金は多く持っているものの、人間性が悪くて鼻持ちならない人がいますね。…そうだ。何人もいる。

②人柄はよいのですが、金がなくて困っている人がいますね。人間として、どのような人が最も良い人になるのでしょうか、と。

孔子は、経済的に富みて、人の命の貴さが解る人が最も立派な人になる、と答えた。これから「富貴（ふうき）」という熟語が生まれたそうだ。

経済力 ＼ 人間性	低い	高い
高い	4	2 富貴
低い	3	

2．念ずれば花が開くか

人生教訓の中で日本人が好きなものに、**念ずれば花開く**というのがある。あることを念じていたら、それだけで解決するということが「たま」にあるが、ほとんどは解決しない。
念じたことが解決して花が開くようにするには、次のことが必要になる。

①念じたことが構成する「**大事な要因**」をはっきりさせる。

②大事な要因の「**ウエイト付**」をし、重要度がより高いものを認識する。

③大事な要因の「**解決方法**」を考えたり研究する。

④解決方法をもとにして、**実行時間**と**実行期間計画**を立てる。時間が物理上のエネルギー源になるので、何時間と数字で決めること。

⑤実行計画に従って、**実際に実行**に移る。

⑥実行に移ってみると、計画した内容ではうまく行かない場合が必ず出る。このときはもう一度計画を立って直す。

⑦念じた目標の規模が大きいときは、大量の時間を、しかも 3 年、5 年、7 年と忍耐強く投入し続ける必要がある。

⑧このとき「**あきらめない**」よう、実行方法や実行時間が続けるために、これを「**念じ続けて**」いると考えたことが実現することがある。

※神様との関係は、私はこういう「**目標を達成**」するのに、朝は何時に起き、どれだけの時間を、何カ月間、何年間投入することを約束しますと、約束するのが本当の神頼みになる。

※エジソンは電球を作るのに、6000 回実験をした。

※具体的な実行計画を立てないばかりか、解決するために欠かせない「時間エネルギー」も投入しないで、何かが実現すること「**だけ**」を神様に願うのは大きな間違い。あつかましい。いずれ「タタリ」がある。

３．自己暗示の原則

自己暗示を世界で最初に体系化したのはフランスで薬剤師をしていた、エミール・クーエ。(1857～1926 年。69 歳)
クーエは、精神面が不安定になっている人は「私はあらゆる面で、日々ますます良くなっている」と、１日 20 回声を出して言い続けていると、これだけで治ることがある。

これを「**一般自己暗示**」と呼んだ。

これに対して「何か」をしようとするときは、まずその中の重要な具体的な行動目標を考え、「これが必ず実現する」と言い続けていると、実現することが多くなる。これを「**特殊自己暗示**」と呼んだ。

※大きな目標に、長い期間かけて取り組むときはこれが役に立つ。

＜参考＞自己啓発と時間戦略に関心がある方は、こちら
https://www.lanchest.com/d-35/

Lanchester ランチェスター経営（株）
〒810-0012　福岡市中央区白金 1-1-8　チュリス薬院 301
TEL　092-535-3311　FAX　092-535-3200
メールアドレス customer@lanchest.co.jp　HP　https://www.lanchest.com